

平和運動センター通信 原水禁ヒロシマニュース

■発行：広島県平和運動センター
原水爆禁止広島県協議会（広島県原水禁）
■〒733-0013 広島市西区横川新町7-22 自治労会館 1階
■TEL:082-503-5855 FAX:082-294-4555
■E-mail:h-heiwa@chive.ocn.ne.jp
■広島県原水禁 ホームページ <http://www.hiroshimaken-gensuikin.org/>
ー子どもや孫たちに、戦争も核もない、美しい地球を！ー

No. 182

2016年
2月号
(2月1日)

発行責任者
藤本講治

――目次――

- 1頁：2月の活動予定（2/1現在）
2頁：平和運動センター幹事会・地区労代表者会議開催（1月20日）
戦争法廃止！安倍政権退陣！19日行動
3頁：戦争法廃止！安倍政権退陣！2016年上半期を全力で頑張り抜こう！（平和フォーラム）
4頁：地区労だより（広島地区労組会議）
5頁：憲法を守る広島県民会議2016年度定期総会開く1月29日）
北朝鮮の核実験に抗議する座り込み行動（1月7日）
「1. 27ネバダ・デー」核兵器廃絶を求める市民行動
6頁：「広島県原水禁第85回理事総会」開催（1月27日）
7頁：「高浜原発3号機再稼働」抗議の緊急行動（1月29日）
8頁：新聞に見る「ヒロシマ」（2015/12/27～1/26）
9頁：ご案内〔紀元節復活反対！平和・民主主義・人権を守る2・11ヒロシマ集会〕
〔2016年全国被爆二世団体連絡協議会総会〕
〔「ストップ！戦争法」2月街頭行動〕
〔部落解放広島県共闘会議第28回総会・学習会〕
〔被災62周年3. 1ビキニ・デー集会〕

【2月の活動予定】

- 3日(水)11:30 豊教連「すべての子どもに豊かな教育を求める」署名提出＝広島県教委
17:30 高校生平和大使・高校生1万人署名活動実行委員会サポーター会議＝広教組会議室
11日(木)10:00 紀元節復活反対！平和・民主主義・人権を守る2.11ヒロシマ集会＝自治労会館
12:00 部落解放広島県共闘会議第4回幹事会＝平和運動センター事務所
12日(金)18:00 ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会事務局会議＝JCJ事務所
13日(土)13:00 被爆二世相談日＝平和運動センター事務所
13日～14日(日) 2016年全国被爆二世団体協議会総会＝ワークピア広島
18日(木)18:30 ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会世話人会＝広島弁護士会館
19日(金)17:30 ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会街頭行動＝広島市・八丁堀

- 21日(日)11:00 Stop! オスプレイの会第3回総会＝岡山労働福祉事業会館
 14:00 沖縄・辺野古新基地建設に反対する全国同時アクション in 岡山
 22日(月)18:00 平和運動センター第3回常任幹事会＝平和運動センター事務所
 23日(火)13:30 部落解放中央共闘会議第40回総会＝東京・自治労会館
 23日～25日(木) 平和フォーラム全国活動者会議＝沖縄
 26日(金)18:00 部落解放広島県共闘会議第28回総会・学習会＝自治労会館
 27日(土)11:00 部落解放・人権政策の確立を求める県民集会実行委員会＝三原市

平和運動センター幹事会・地区労代表者会議開催(1月20日) ＝地区労の結集で「戦争法廃止 2000万人署名」を達成しよう！＝

1月20日、自治労会館において第2回常任幹事会・第1回幹事会・地区労代表者会議を開催しました。開会にあたり佐古議長は、「安倍政権になって運動課題が山積。原発再稼働、3月末施行の戦争法、辺野古新基地建設など日米軍事同盟の強化が進められている。名文改憲を認めるわけにはいかない。我々のできることをやっつけよう」とあいさつしました。



活動報告では、昨年12月から1月にかけて取り組

んだ「12.8不戦の誓いヒロシマ集会」、「北朝鮮核実験抗議の座り込み」「戦争法廃止19日行動」、「世界人権宣言67周年広島集会」などの報告を行いました。

協議事項では、当面する取り組みとして、①「1.27ネバダ・デー」に核実験全面禁止を求めて座り込み行動を行う。②建国記念の日(2月11日)に「紀元節復活反対！平和・民主主義・人権を守る2.11ヒロシマ集会」を開催。③「戦争法の廃止を求める2000万人署名」を県内各地域で展開する。④部落解放広島県共闘会議第28回総会を2月26日に開催。⑤福島原発事故から5年「フクシマを忘れない！さようなら原発ヒロシマ集会」を3月12日に広島市中央公園で開催。などを確認しました。

構成組織においては、春闘期の取り組みなど多忙な時期に入っていますが、各種集会への参加、「戦争法の廃止を求める統一署名」への結集をお願いします。

戦争法廃止！安倍政権退陣！19日行動

＝ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会「中野晃一講演会」(1月16日)＝

戦争法廃止！安倍政権退陣1月の「19日行動」は、1月16日に実施しました。

戦争をさせないヒロシマ1000人委員会は、11時から広島・本通り電停青山前において約50人が参加して街頭署名活動を行いました。



その後、午後から開かれたストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会主催の上智大学教授「中野晃一」講演集會に参加しました。集會は、約650人が県民文化センターホールを

埋め尽くしました。中野さんは、安保法制の背景や安倍政権の対米追従の政策、少数支配の政治手法を指摘し「若者やママの会など新しい市民運動がめばえている。平和主義と若者をつなげていこう」と呼びかけました。最後に各団体が戦争法廃止 2000 万署名に全力を上げて取り組むことを決意し合って集会を終了しました。なお、会場で取り組みましたカンパは 1,702,870 円のご協力をいただきました。

戦争法廃止！安倍政権退陣！

2016年上半期を全力で頑張り抜こう！（平和フォーラム）

3 万数千の人びとが集まった昨年の「平和といのちと人権を！5.3 憲法集会」

私たち戦争をさせない 1000 人委員会は、2014 年 3 月の発足以来、「集団的自衛権」の行使容認の閣議決定阻止（・撤回）、そして「戦争法（案）」廃案（・廃止）のたたかいにとりくんできました。そのなかで、憲法破壊・人権破壊・生活破壊をすすめる安倍政権と対決する多くの人びととの共同が、大きなかたちで作りだされています。



そのひとつが「戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会」です。また、沖縄・辺野古新基地建設に反対するたたかい、あるいは原発再稼働に反対し脱原発を求めるたたかいが大きくなうねりとなってあらわれています。戦争をさせない 1000 人委員会はこうした共同を支え、より発展させるべく、とりくみをすすめていきます。

安倍政権は暴走の度合いをいっそう強めています。沖縄・辺野古への基地建設、歴史認識の改ざん、貧困と格差の拡大、原発再稼働、そして憲法破壊策動へと突き進んでいます。「戦後レジームからの脱却」を掲げつつ、戦争国家への道へと踏み込んでいく以上、私たちはこれに真正面から対決し、安倍政権の退陣と政策転換を実現しなくてはなりません。今年 7 月の参議院選挙では、改憲勢力の「3 分の 2 確保」を何としても阻止しましょう。安倍首相はすでに「緊急事態条項」追加などを口実にしながら憲法の明文改憲にふたたび言及しています。絶対に許してはなりません。この 2016 年上半期を正念場として、全力でがんばる決意を固めあいましょう。

私たちは今年 5 月 3 日の憲法集会を「明日を決めるのは私たち—平和といのちと人権を！5.3 憲法集会」（有明防災公園）として、再度大きな共同の枠組みでの集会として準備しています。2 月 21 日開催予定の「止めよう！辺野古新基地建設 2.21 国会大包围」（国会周辺）や 3 月 26 日開催予定の「原発のない未来へ！3.26 全国大集会」（代々木公園）などにもとりくみます。

また、「戦争法の廃止を求める統一署名」をさらに押しひろげるとともに、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」の推進する野党共闘の実現、法曹・学者・市民によって準備されている「安保法制違憲訴訟」など、あらゆるかたちで政府・与党の横暴と対決するとりくみをすすめます。

全国のみなさん！ 戦争をさせない 1000 人委員会は、みなさんと固く連帯しながら、戦争法廃止・安倍政権退陣に向け全力を尽くす決意です。平和な未来を切り拓くために、いまこそ立ち上がり、ともに声をあげましょう。

●「戦争法の廃止を求める統一署名」に全力でとりくみ、目標の 2000 万筆を達成

しよう！

- 集会・デモをはじめあらゆる表現行動をもって、私たちの声を全国各地でとどろかせよう！
- 法曹・学者・市民の共同で「安保法制違憲訴訟」をすすめよう！
- 7月の参議院選挙での改憲勢力の「3分の2確保」を絶対に阻止しよう！
- 憲法破壊・人権破壊・生活破壊と対決する人びととの共同をさらに拡大しよう！
- 戦争法廃止・改憲阻止！ みんなの力で安倍政権を倒そう！

地区労だより【広島地区労組会議】

＝各単組・勤労協の協力で様々な活動を展開＝

広島地区労（福本康志議長：私鉄広電）は、2014年12月22日に第21回定期総会を開催し、『平和・民主・人権・環境』を中心とした国民運動課題の前進に向けて引き続き取り組んでいくことを確認し、2015年度の活動を展開しました。



主な活動については、平和運動センターから提起された集会への参加、県原水禁や市民団体とともに原爆慰霊碑前での核実験反対やチェルノブイリデーなどの抗議の座り込み行動・街頭ビラ配布行動（3か所）、原水禁運動では、8月2日・3日にかけて行った非核平和行進は、5つの勤労協の協力のもと、西部（廿日市市役所前～平和公園）・東部（坂町役場前～平和公園）・北部（JR可部駅～祇園大橋南詰）をこれまで行進してきた各地の思いを引き継ぎ、約350人が結集しました。

また、4日の原水禁広島大会「折鶴平和行進」は、行進団の警備を担当しました。

「戦争をさせない全国署名」をはじめとした街頭署名を取り組みました。さらに、「憲法を守る広島県民会議」「食・緑・水・環境を守る広島県民会議」主催の行事・学習会への参加について、地区労通信で各単組へ積極的な参加を呼びかけています。その他、予算要求運動として広島地区労・I女性会議・広島市退職者の会・社民党市連協で組織する「住みよい広島をつくる会」は、住民要求を取りまとめ、市行政に対して要請行動を行っています。

こうした取り組みを行っていますが、地区労幹事会の開催が年3回程度となっていること、地区労独自の学習会が開催できないことなどの課題もあります。今後、これらの課題解決に向けて努力するとともに、引き続き、広島地区労に結集する各単組・各勤労協が一致団結して活動していきたいと思えます。（広島地区労 山本 学）

憲法を守る広島県民会議 2016 年度総会開く (1 月 29 日)

＝憲法を破壊する安倍政権の暴走を止めよう！＝

1 月 29 日、自治労会館で「憲法を守る広島県民会議 2016 年度定期総会」を開催しました。開会にあたって弁護士の鶴岐県護憲代表委員弁護士は、「安倍首相は、ヒトラーと同じである。民主主義の日本が独裁体制になってきたのか愕然とする。若者に働きかけて平和憲法を守っていこう」とあいさつしました。



その後、2015 年度の活動報告・会計報告の承認。そして、「5・3 憲法ヒロシマ集会」を始めとした春季護憲運動、戦争法の廃止を求める署名運動など 2016 年度活動方針と 2016 年度役員体制を決定。民意を無視し暴走を続ける安倍政権に抗して、さらなる運動を進めていくことを確認しました。

北朝鮮の核実験に抗議する座り込み行動 (1 月 7 日)

＝核兵器廃絶広島平和連絡会議＝

1 月 6 日午前 10 時半、北朝鮮が水爆実験を実施したと報じられました。原水禁、平和運動センターなどで構成する核兵器廃絶広島平和連絡会議は、被爆地ヒロシマの「核兵器廃絶と世界の恒久平和」への思いを踏みにじる到底許せない行動であるとして 1 月 7 日、12 時 15 分から原爆慰霊碑前で 90 人が参加して抗議の座り込みを行い、北朝鮮政府に対して強く抗議を示しました。



「1. 27 ネバダ・デー」核兵器廃絶を求める市民行動

＝原爆慰霊碑前で 65 人が座り込む＝



1 月 27 日、12 時 15 分から県原水禁・県平和運動センターの呼びかけで、原爆慰霊碑前に 65 人が参加して、「1.27 ネバダ・デー・核実験全面禁止、核兵器廃絶を求める市民行動」を行いました。

座り込みにあたり県原水禁金子哲夫代表委員は、「核兵器の廃絶、ネバダの核実験場の閉鎖を求めて国際行動として座り込みを行っている。残念ながら臨界前核実験が行われている。核実験をストップさせるこ

とが次へのステップとなる。被爆地の私たち・県原水禁は、いかなる国のいかなる理由によっても核実験は認めるわけにはいかない。核保有国の廃絶に向けた意思表示と道筋がなければ核拡散を止めることはできない」とあいさつしました。

座り込みの最後にネバダ核実験場の閉鎖、核兵器全面・核兵器禁止条約の実現、原発の再稼働反対などの「ヒロシマからのアピール」を参加者一同で採択しました。

アピール文は、同日に首相官邸（安倍晋三内閣総理大臣）と米国大使館（駐日米国キャロライン・ブービエ・ケネディー大使）に送付しました。

「広島県原水禁第85回理事総会」開催（1月27日）

＝新しく代表委員に秋葉忠利さん(前広島市長)が就任＝

1月27日、自治労会館において広島県原水禁第85回理事総会を開催しました。座長に石岡常任理事（広教組委員長）を選出し開会しました。



開会のあいさつで県原水禁金子代表委員は、「昨年は被爆70年、原水禁結成50年、NPT再検討会議の開催と節目の年であった。原水禁は今日まで『核と人類は共存できない』この理念を被爆地の広島県原水禁として役割を果たさなければならない。2016年はその成果を着実に一つ一つ取り組まなければならない。今年は戦争法、正念場の年である。一切の戦争を否定し、核兵器廃絶・被爆者援護・脱原発などヒロシマの心を結集して頑張らなければならない」と述べました。

総会では、連合広島の久光博智会長から連帯のあいさつと松井一寛広島市長のメッセージ紹介の後、核や原発、ヒバクシャの様々な課題について、県原水禁は昨年の被爆70周年原水禁世界大会・原水禁結成50周年シンポジウムであらためて確認し合った「核と人類は共存できない」とした原水禁の運動理念を共有し、核も戦争もない平和な社会を実現するため、被爆者団体、平和運動センター、連合広島や「戦争をさせない1000人委員会」など広範な人々と連携して運動を推進していくことを盛り込んだ2016年度活動方針を決定しました。

また、役員改選では、11年間代表委員を務めてこられた片山春子さんが退任。新しく秋葉忠利さんが代表委員に就任しました。最後に「原爆の惨禍を体験した私たちヒロシマは、被爆者の課題、被爆の実相・被爆体験を継承し、原水爆禁止の運動、被爆者援護の運動に全力で取り組んでいこう」との総会決議を採択し、秋葉代表委員から「原水禁運動の伝統を引き継ぎ発展させるため、一致団結して核兵器のない世界をめざし、二度と惨禍を繰り返してはならないという被爆者の想いを実現させるためがんばっていこう」と閉会のあいさつを行って総会を終了しました。



その後、理事のみなさんと原水禁運動この1年間の活動と課題について意見交換を行い、これからの県原水禁運動の前進に繋げていくことを確認していきました。

広島県原水禁第85回理事総会 決議

2011年3月の東京電力福島第一原発事故は「核と人類は共存できない」ことを証明しました。しかし、原発事故の収束の見通しさえない中で、九州電力川内原発1号機・2号機が再稼働を強行しました。さらに、関西電力高浜原発、四国電力伊方原発の再稼働をさせようとしています。

福島原発の過酷事故は、人々から故郷を奪い生活の基盤と雇用を奪い続けています。今年は、福島原発事故から5年、チェルノブイリ原発事故から30年という節目の年にあたります。節目の年を契機に、あらためてフクシマの現実を訴え、脱原発への決意と取り組みの強化をはからなければなりません。

安全な原発などありません。原水禁は、「核絶対否定」の立場から核の商業利用など原発政

策に反対し続けてきました。私たちは、「核と人類は共存できない」ことを再確認し、あらゆる核実験の禁止、原発再稼働を許さず脱原発による持続可能で平和な社会を実現するため、被爆地ヒロシマからさらに運動を強めます。

被爆から70年が過ぎて、被爆者の高齢化や病弱化がいつそう進んでいます。原爆の惨禍を体験した私たちヒロシマは、被爆者の課題、被爆の実相・被爆体験を継承し、原水爆禁止の運動、被爆者援護の運動に全力で取り組んでいきます。

私たちは訴えます。

- ◆原発の再稼働、新增設に反対し、核に頼らないエネルギーに転換しよう！
- ◆原水禁・連合・KAKKIN3団体での核兵器廃絶に向けた運動の強化をはかろう！
- ◆核廃絶・原水禁運動を強化し、東北アジアの非核地帯化と非核三原則の法制化を実現させよう！
- ◆フクシマとの連帯を強化し、すべてのヒバクシャの援護と権利確立に向け、国家補償の精神にもとづく法制化を進めよう！
- ◆戦争への道を突き進む安倍政権の暴走を阻止し、憲法9条を守り、憲法改悪に反対しよう！
- ◆ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、
ノーモア・フクシマ、ノーモア・ウォー！

以上、決議とします。

2016年1月27日

「高浜原発3号機再稼働」抗議の緊急行動(1月29日)

＝雨の中、被爆地ヒロシマから抗議の声をあげる＝



関西電力は、高浜原発3号機の再稼働を1月29日に行うと発表しました。この再稼働に反対するため、平和運動センター・県原水禁は、29日、12時15分から原爆慰霊碑前で40人が参加して緊急抗議行動を行いました。

行動にあたり県原水禁の金子代表委員は、「福島原発事故の反省もなく原発再稼働が強行され続けている。民意を無視する原発の再稼働に抗議するとともに、フクシマの現実を忘れることなく原発に頼らないエネルギーを求めていかなければならない」とあいさつしました。雨天のため座り込みはできませんでしたが、参加者の総意で関西電力に対し再稼働強行への抗議と原発廃炉を求めて抗議を行いました。

関西電力株式会社
取締役社長 八木 誠 様

高浜原発3号機の再稼働に抗議する！

関西電力は、本日・1月29日夕刻、高浜原発3号機を起動し、再稼働させます。
九州電力川内原発1号機・2号機の再稼働に次いで、国内3基目となる原発再稼働となります。高浜原発については、昨年4月に福井地裁が高浜原発の運転差し止め仮処分決定がされたにもかかわらず、12月に決定が取り消され、再稼働ができるようになりました。

私たちは、あれほどまでに声をからして訴え続けてきました。原子力発電所は、とても危険でひとたび事故を起こしたら甚大な被害が生じると。にもかかわらず、原子力村の面々は「絶対事故は起きない。」とうそぶき、東京電力は実施が不可避とされた津波対策を先送りにして3・11を迎えてしまいました。東電幹部には責任を取ってもらわなければなりません。福島では、事故から5年近くが過ぎようとするいまでも10万人近くの被災者が長期に渡る厳しい避難生活により、社会、経済、就労、健康などに大きな負担を強いられており、それも限界にきています。

チェルノブイリ原発事故を教訓とすることなく、繰り返された福島原発事故で信じられないような苦しみに直面している人びとに寄り添ってともに闘い、二度と再びこのようなことがないようにすることこそが、私たちの使命だと思います。そのために原子力発電所の再稼働を決して許してはなりません。関西電力高浜原発の事故時の避難計画の概要策定も遅れている現状にあり、福島原発事故の教訓から何も学ぼうとしない姿勢は問題です。

私たちは、民意を無視し、危険な再稼働を強行しようとすることに強く抗議し、「命」の軽視を許さず、現地の住民・市民とともに廃炉に向けてより一層の運動強化をはかっていきます。

以上

2016年1月29日

「高浜原発再稼働抗議行動」参加者一同
原水爆禁止広島県協議会（広島県原水禁）
広島市西区横川新町7-22 自治労会館1階
(Tel : 082-503-5855 fax : 082-294-4555)

新聞に見る「ヒロシマ」(2015/12/27~1/26)

見出しから	日付	新聞
高宮被爆者の会解散へ 有志ら新団体で継続	12.27	中国
継承 被爆2世の挑戦 原爆被害者5団体 相次ぎ解散	12.28	朝日
平和への思い 次代へ 「体験伝承者」が始動	12.29	中国
読み返す被爆70年 「核絶対否定」再び光	12.31	朝日
韓国被爆者へ 日本の書籍 市民から提供募る	1.6	中国
ドーム耐震工事 本格化	1.6	中国
北朝鮮 4回目核実験 「初の水爆成功」発表	1.7	中国
北朝鮮が核実験 「初の水爆」韓国は疑問視	1.7	朝日
座り込み「北朝鮮けしからん」	1.8	中国
核実験に抗議 座り込み	1.8	朝日

峠三吉 闘う詩 反戦・被爆調査 未発表の2編	1.10	朝日
原爆開発 米のヒバク知って 被害訴える住民がNPO	1.13	朝日
核実験禁止へ4月会合 CTBT準備委 岸田外相の参加期待	1.13	中国
ビキニ被曝 保険申請へ 福竜丸以外の救済求め	1.14	中国
伊方原発再稼働反対 広島弁護士会が声明	1.15	中国
仏外相 被爆者追悼へ 平和公園訪問 大使示す	1.15	朝日
広島高師遺構「被爆前」語る	1.22	中国
核軍縮の議論に参加求める書簡 平和首長会議	1.23	朝日
被爆距離3キロ 原爆症認めず 東京地裁が請求棄却	1.23	中国
平和願うラップ ネットのせて♪	1.24	朝日
核軍縮会議模擬体験や講義	1.25	朝日
在米被爆者訴訟終結 訴え取り下げ、国と県同意	1.26	朝日

【 ご案内 】

■ 紀元節復活反対！平和・民主主義・人権を守る2・11ヒロシマ集会

◇開催日 2月11日（木）10時～12時

◇場 所 自治労会館3階 大会議室

◇内 容 講演「沖縄から見る平和・人権・民主主義
—辺野古の海に基地はいらない—

講師：松元 剛さん（琉球新報編集局次長）

■ 2016年全国被爆二世団体連絡協議会総会

◇開催日 2月13日（土）～14日（日）

◇場 所 ワークピア広島

■ 「ストップ！戦争法」2月街頭行動

◇開催日 2月19日（金）17時30分～18時30分

◇場 所 広島市八丁堀・福屋前

■ 部落解放広島県共闘会議第28回総会・学習会

◇開催日 2月26日（金）18時～20時

◇場 所 自治労会館3階 大会議室

◇内 容 総会と学習会

講演「若者の貧困問題（ブラックバイト・奨学金問題）」について

講師：大内裕和さん（中京大学国際教養学部教授）

■ 被災62周年3.1ビキニ・デー集会

◇開催日 3月1日（火）18時～20時

◇場 所 静岡市「労政会館」